

お待ちしています。お気軽にご参加ください！

わがまちボランティア募集説明会

活動に参加したいけど、具体的にどうやって始めたらいいの？

地域で何かしたいと思っているけど、何ができるかな？

ボランティア活動を通して地域貢献の第一歩を！

下記のような、地域を支える活動をしています



子どもの見守り



サロンの手伝い・話し相手



フードドライブの受付・食品の仕分け

府中市内の住民同士の支えあい活動(※わがまち支えあい協議会)についてのご説明と、実際に活動している方の体験談をご紹介します。自分にできること、やりたいことを見つけませんか？

●12月21日±
武蔵台・西府文化センターエリア

時間 10:00~11:30
会場 武蔵台文化センター 3階講堂

▶定員：50名
▶受付期間：10月15日～12月18日



申込みはこちら

●1月25日± 東エリア
(押立・紅葉丘・是政・白糸台文化センターエリア)

時間 10:00~11:30
会場 白糸台文化センター 3階講堂

▶定員：40名
▶受付期間：令和6年11月1日～令和7年1月20日



申込みはこちら

申込み・問合せ▶上記の二次元コードから、お申込みをお願いいたします。その他お電話やメールでも受け付けております。
●電話：042-364-5382 / FAX：042-362-9090 ●メール：fuwari@fsyakyo.or.jp

社協のこと、生活支援・地域福祉コーディネーターのPRの機会をいただけませんか？

「社会福祉協議会って何をしているの?」「コーディネーターってどんな役割があるの?」等、地域活動やコーディネーターのPRをさせていただきます。これから地域貢献をお考えの企業様、地域と一緒に何か活動したいと思っているけれど何から始めていいかわからないという団体の方など、ご連絡をお待ちしております。



問合せ・申込み

取り上げた内容の中で「興味がある」、「これなら協力できる」などございましたら、府中市社会福祉協議会へお気軽にお問合せください。

社会福祉法人 府中市社会福祉協議会
地域活動推進課 まちづくり推進係

電話・FAX・メールでのお問合せは下記から
電話：042-364-5382 FAX：042-362-9090
メール：fuwari@fsyakyo.or.jp

※FAX・メールの際は、氏名、住所、連絡先をご記載ください。



ホームページ紹介

府中市社会福祉協議会ホームページから、各わがまち支えあい協議会のホームページをご確認いただけます。詳しい活動日程や活動の様子を掲載しております。ぜひご確認ください。

府中市社会福祉協議会ホームページ「わがまち支えあい協議会」
<https://www.fsyakyo.or.jp/tiikikatsudosuisinka/wagamachi>

右の二次元コードよりアクセスできます▶



ふわり
社協マスコットキャラクター

明日からできる地域活動情報紙 /

Connect ぶちゅう

発行：社会福祉法人 府中市社会福祉協議会

2024 December

Vol.07

楽しく集い、支え合うみんなの居場所「サロン」!



リビングせんげんの代表 坂東さん、高瀬さん

活動の様子

わがまち支えあい協議会で出会い、地域の居場所を立ち上げた坂東さんと高瀬さん。自宅の居間のような居場所「リビングせんげん」

ここに来れば、居場所がある。みんなのためのサロンを作りたい!

立ち上げのきっかけ

坂東) 介護の経験を通して、同じような方が近所で気軽に集える場があると良いと思ったことがきっかけです。今年1月に新町ささあいの会の定例会に初めて参加しました。その時、サロン開催への思いを話し、高瀬さんに会いました。そして、5月から活動を開始しています。

高瀬) 自身が住む集合住宅の集会所を使いたいの話だったため、橋渡しができればと思いました。以前、ヤングケアラーの問題をテレビで見て、そういう子の居場所にもなる場所があると良いと思っていたこともありました。

開催後の感想

坂東) 始めてから6か月が経ちました。近所付き合いが少ない中、おしゃ

べりしたい方たちが来てくれ、顔なじみが増えてきたことが良かったと思っています。

高瀬) 楽しみに待ってくださっている方もいます。子ども連れの方が参加してくれたり、先日は小学生が「寄っているの?」と声をかけてくれました。地域の中で広がりがつづいて、良かったと感じています。

今後について 坂東) 今後、サロン開催時にフードドライブ(食品の寄付)のBOXを設置し、わがまち支えあい協議会の食支援活動に協力していく予定です。助け合いができる近所づくりを目指し、こちら側が無理せずできることをやっていきたいです。将来的にはお昼も食べたりできると良いなと思っています。

高瀬) ここに来れば、居場所がある。困ったことを相談できたり、必要な情報が得られるような場にしていきたいです。



カフェ・ルピナスの代表 高桑さん

仲間と共に試行錯誤しながら挑戦を続ける高桑さん。「ルピナス=いつも幸せ」をモットーに!

立ち上げから7年が経過。楽しく過ごせる自然な形のサロンに!

立ち上げのきっかけ

民生委員になった7年前にこの地域は高齢で一人暮らしの方が多く、参加者同士の距離が近くなったこと、それぞれが役割を持ち、気遣い、仲良く、楽しく、皆と一緒にできているこの自然な形が良いと思っています。

今後について

子育て世代も地域に増えつつあるので、子育て中の方と高齢の方が一緒に参加できる場をまた開きたいです。以前開催した際は、高齢の方が子どもの面倒をみてくれ、その時間はママさんがほっとできる時間になっていました。ママさんの悩みを聞くこともできると思うので、そこで情報共有したり、コーディネーターへ橋渡しをしたり、新たな繋がりも生まれることを期待しています。

開催後の感想

社協のコーディネーターに相談をしたり、お茶飲みした方がお手伝いをしてくれることになり、心強い仲間ができたことで約2か月でスタートできました。7年が経過し、コロナ禍により中止した期間もありましたが、参加者からの強い要望でスタッフと試行錯誤しながら3グループに分けて再開。とても

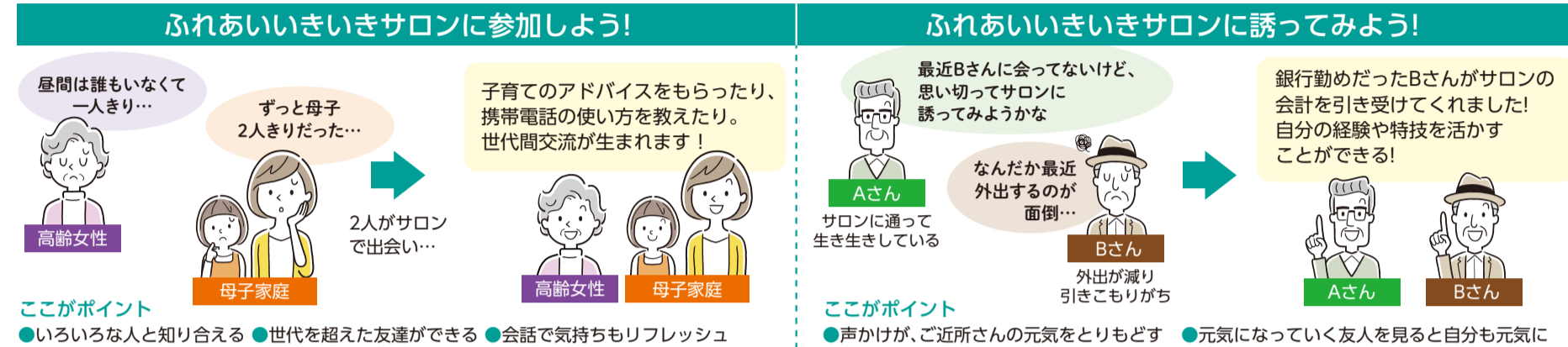
ふれあい いきいきサロン



地域の皆さんでつくる地域交流の場です。地域に住むいろいろな方、また多世代が自由に参加でき、できる範囲で主体的に関わることにより、自分を活かしながら過ごせる場所です。また、そこでのふれあいが地域で支え合うきっかけにつながる場所です。

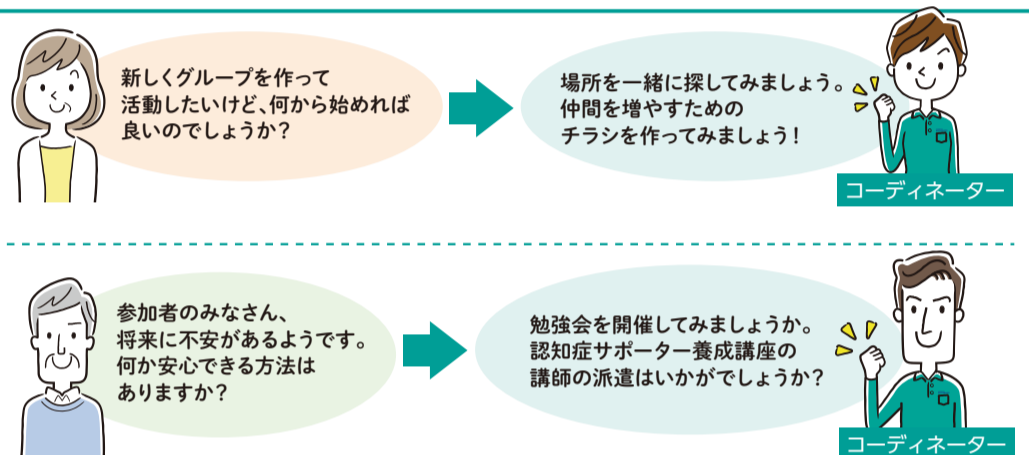
ふれあいいきいきサロンってこんな効果があります!

- ご近所同士がつながるきっかけになります
- 外に出る楽しみが見つかります
- 日常の支え合いや見守りが生まれます
- 身近な地域の楽しいボランティア活動ができます
- いざというときに支え合う関係づくりにつながります
- 地域の福祉力がアップします



地域福祉コーディネーターとは?

府中市社会福祉協議会では市内11か所の文化センター圏域に地域福祉コーディネーターを配置しています。今ある制度では解決しにくい困りごとを抱えている方に寄り添い、解決に向けて一緒に考えます。また、地域住民が一人ひとりの困りごとを地域全体の課題として捉え、地域の方々と協力して解決できるような「ささえあい」の仕組みづくりをお手伝いします。地域の困りごと、悩み事と一緒に解決していきませんか? サロン活動を通して一人にしない、させない地域の仲間づくりに取り組みましょう! 地域福祉コーディネーターは皆さんと一緒に考えます! お気軽に相談ください!



サロンマップ連絡会

- 目的: サロン同士がつながる場・情報交換の機会とし、今後の活動のヒントを得てもらう場。
- 内容: 年1回更新のサロンマップのお披露目、新たなサロンの紹介、情報交換

サロンマップとは?

地域の皆さんで作る地域交流の場「ふれあいいきいきサロン」として市内で活動しているサロンを掲載したマップです。



サロンマップ連絡会の様子

サロン交流会

- 目的: サロン活動を始めた方、現在サロン活動をしている方と、サロンの機能・効果を共有、再認識する機会。サロンを立ち上げたい方と現在サロン活動をおこなっている方の情報交換ができる場。
- 内容: レクリエーション、懇談

令和6年度 サロン交流会を開催します!

- 日時: 令和7年2月8日(土) 13:30 ~ 15:30
- 会場: ふれあい会館 3階



サロン交流会の様子

令和7年度版

わがまちサロンマップ新規掲載団体募集!

- 対象: 市内で活動している地域交流が目的のサロン
- 締切: 令和6年12月20日(金)



問合せ先

電話: 042-364-5382
(サロン担当宛)



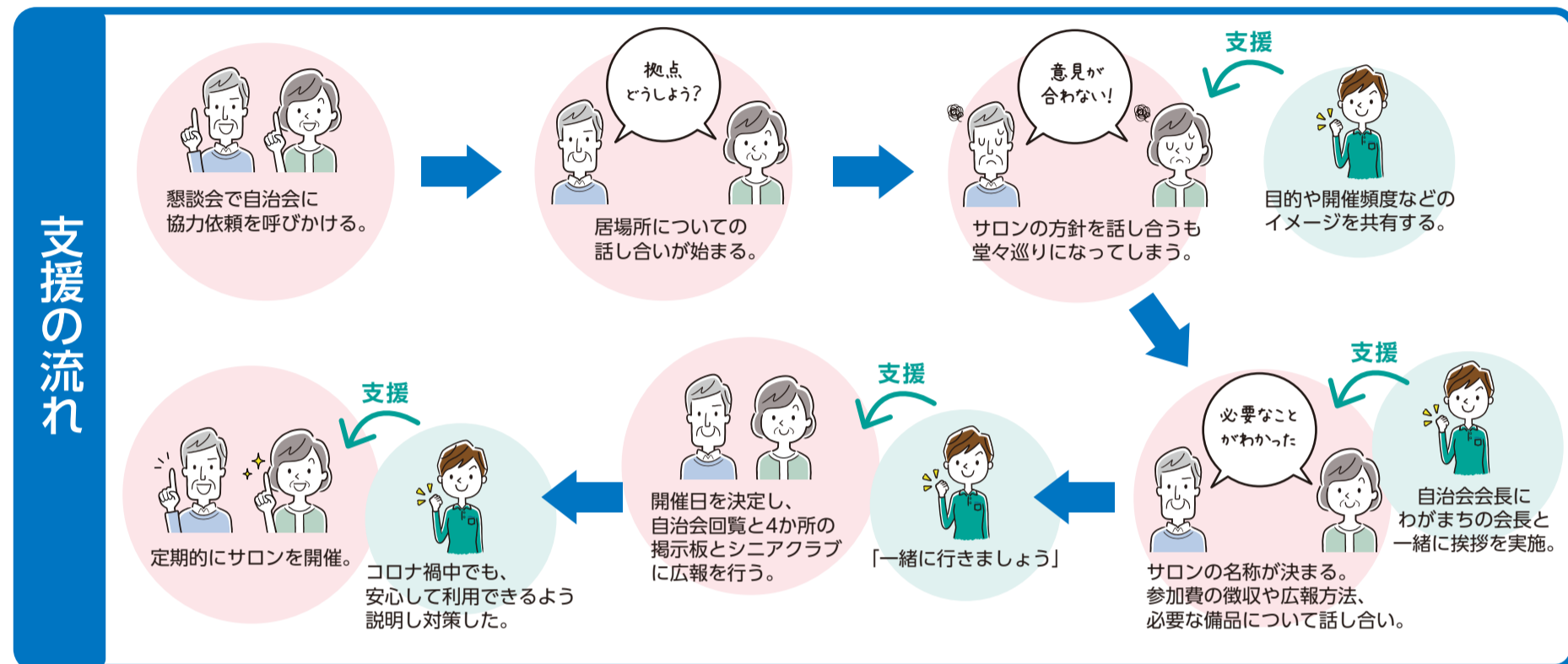
コーディネーターの関わり

- 事例: 「わがまち縁側サロンこれまさ」の立ち上げ

わがまち支えあい協議会*(以下わがまち)の参加者から地域で気軽に話せる場所があればいいという声が上がった。地域の人の声が聞けるような身近な地域で居場所を作ろうという話になり、わがまちと自治会との懇談会を行った際に、地域の公会堂をお借りできないか依頼。4か所の自治会より自治会館を使うことに了承をいただいたため、そのうちの1か所の自治会館をお借りし、サロンの開催に至った。*府中市内の住民同士の支えあい活動



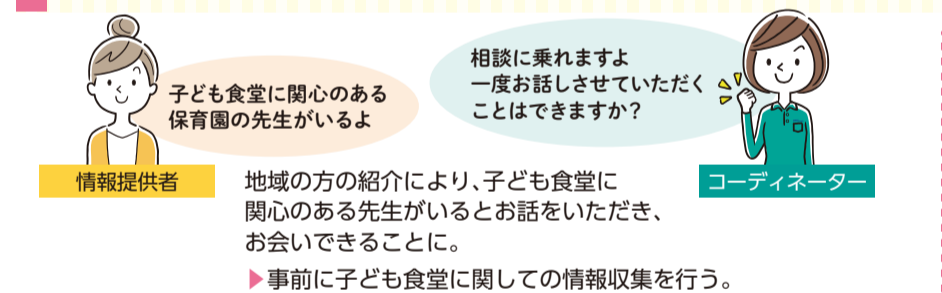
活動の様子



コーディネーターの関わり

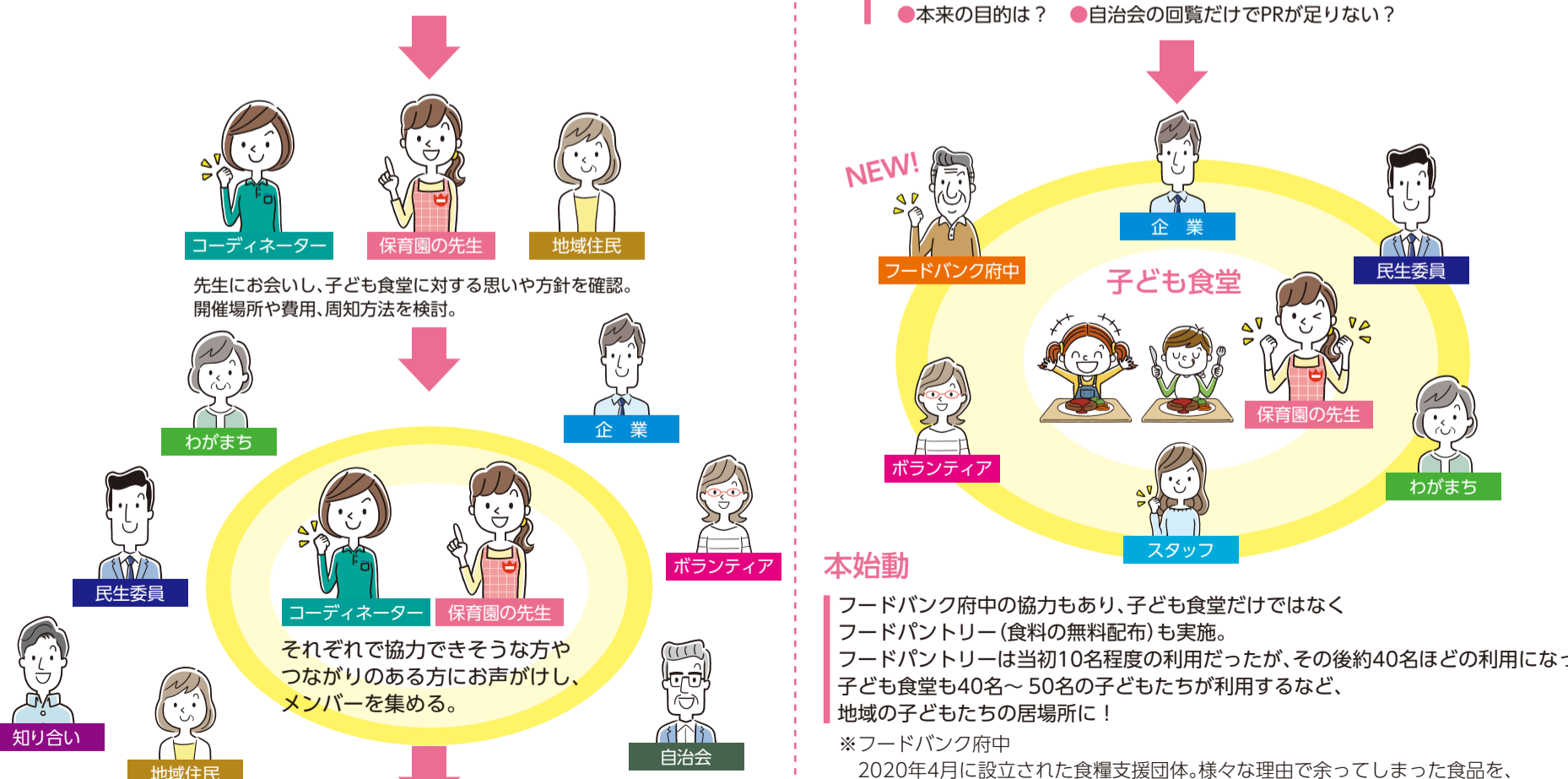
- 事例: 子ども食堂の立ち上げ

地域の方の情報提供により、子ども食堂の立ち上げ支援を保育園の先生とボランティア、地域の方々と一緒に行うことに。打ち合わせを繰り返しながら、地域のネットワークを通じて子ども食堂の開催に至る。



子ども食堂のプレ開催

- 参加者: 48名、ボランティア: 15名、社協、保育園の先生方15名程度の協力と自治会、ボランティアさんのご協力もあり、無事開催。雰囲気、料理は好評をいただいた。
- ▶振り返り...参加者は90%が保育園の保護者親子
- 本来の目的は?
 - 自治会の回覧だけでPRが足りない?



本始動

フードバンク府中の協力もあり、子ども食堂だけではなくフードパントリー(食料の無料配布)も実施。フードパントリーは当初10名程度の利用だったが、その後約40名ほどの利用になった。子ども食堂も40名~50名の子どもたちが利用するなど、地域の子どもの居場所に!

*フードバンク府中
2020年4月に設立された食糧支援団体。様々な理由で余ってしまった食品を、企業やご家庭からいただき、支援を必要とする人や団体へ無償で届ける活動。